

平成20年度2月補正予算(一般会計)のあらまし 5億1,051万7千円

2月補正前予算額
281億6,682万円



2月補正後予算額
286億7,733万7千円

【主な事業】

1. 除雪対策

平成21年1月24日～26日能登南部地域の大雪に要した費用
(除雪委託料、倒木処理費、凍結防止用材料費ほか) …6,000万円



除雪

2. 景気・雇用対策

①地域活性化・生活対策臨時交付金事業…4億4,300万円

地域を活性化させる事業や生活対策に対応した事業を行うために必要な費用に対し、国から交付金をもらうことができます。市ではそれを活用し、地域活性化のために事業を行います。



どんなものに使うの？

おもいやり駐車場整備事業…814万円

市内の公共施設(公民館・小中学校・体育施設など)83カ所に「ハート・プラスマーク(サイン看板など)」を設置し、体の不自由な方などにやさしいまちづくりをします。



ハート・プラスマーク

避難誘導看板設置事業…3,108万円

避難誘導看板が未設置の「避難施設」(108カ所)と「避難場所」(30カ所)に、避難誘導看板を設置することで、避難場所を市民にわかりやすく伝え、万一の災害に備えます。



避難誘導看板

AED設置事業…1,380万円

AED(自動体外式除細動器)が未設置の公共施設(公民館・小中学校・体育施設など)46カ所に設置し、公共施設に訪れる方などの安全確保に努めます。

マメ知識

AEDとは、Automated External Defibrillator(自動体外式除細動器)の略で、電源を入れると音声で操作が指示され、救助者がそれに従って除細動(疾病者の心臓に電気ショックを与えること)を行う装置です。

AEDは自動的に心電図を診断し、電気ショックを与える必要があるかどうか判断しますので、医学的な知識が少ない一般市民でも音声ガイダンスに沿った簡単な操作で救命処置ができます。

全国的に見ても人が大勢集まる公共の場所で多く設置されており、実際にAEDを使って命を救った例も報告されています。



その他の事業…3億8,998万円

地上デジタル放送対策事業、車両購入事業、防潮水門改修事業、用排水路整備事業、ため池整備事業、土地改良事業、道路改良事業、河川改良事業など

②緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業…51万7千円

一時的な雇用対策として、税務資料整理等を行う臨時職員を雇用します。

③定額給付金給付準備事務費…700万円 (準備事務費:定額給付金事務委託料、印刷製本費など)

国が行う家計への緊急支援である「定額給付金」をお支払いするための準備事務費(事務委託料・印刷製本費)に使います。



能登空港を利用して地元の活性化につなげよう!

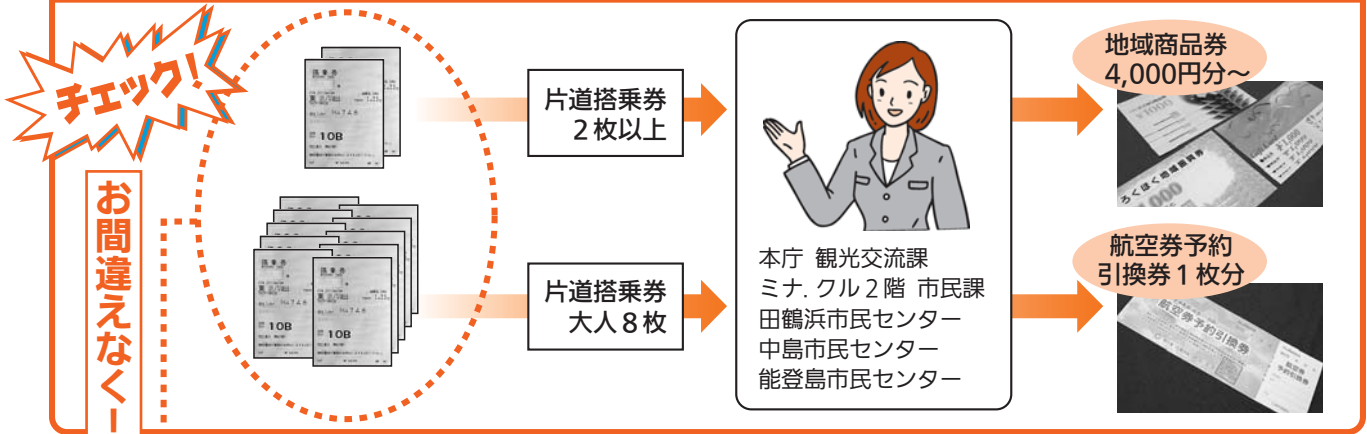
能登空港利用促進助成制度 《申請を忘れていませんか!?!》

七尾市の助成制度

助成内容 (①か②のいずれか選択)	必要搭乗券枚数	搭乗券有効期間	申請該当者	受付窓口
① 地域商品券 ・かもめ商品券・ささゆり商品券 ・ろくほく地域振興券 のいずれかを選択 ※取り扱い商店	★片道搭乗券2枚以上で申請 ・1枚当たり2,000円の商品券と引き換え (小人は、1,000円) ※ろくほく地域振興券だけは、6カ月間の期限付商品券	搭乗日から6カ月以内	①七尾市内に住所がある方。 ②七尾市内に住所がある方のうち、親が市内に住所があり、市内の学校に在学する学生。	①市役所1階 観光交流課 ②田鶴浜市民センター ③中島市民センター ④能登島市民センター ⑤ミナ・クル市民課
② 航空券予約引換券 ※七尾市登録旅行者	★片道搭乗券8枚で申請 (小人=大人の1/2枚分) ・予約引換券と引き換え (能登~羽田便の片道分) ※予約引換券の有効期間は、交付の日から12カ月間	搭乗日から12カ月以内	※上記の条件を満たしていれば、本人以外の搭乗券でも申請可能。	

(1)七尾市以外の市町で行っている運賃助成などの併用は出来ません。(2)申請の際、印鑑と住所を確認できるもの(運転免許証など)が必要です。(3)大人=中学生以上、小人=3歳以上小学生以下 など

【申請の流れ】



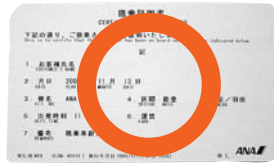
申請に必要な搭乗券ってどれ?



搭乗券

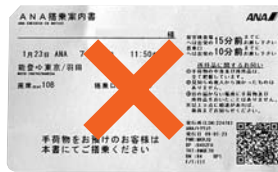
搭乗ゲートで発行される券で、この券がないと搭乗できません

搭乗券を紛失した場合



搭乗証明書

搭乗券を紛失した場合のみ能登空港ANAカウンターで搭乗した証明書を発行してくれます。



搭乗案内書

最初の搭乗手続きするときと保安検査場を通過するときに必要な案内書



搭乗口案内

保安検査場を通過したときに搭乗口を案内する券

能登空港利用促進同盟会助成金制度

【能登空港首都圏研修等助成金】

能登~羽田便に10人以上の団体で往復搭乗し、首都圏の事業所、学校、地域団体などと経済、文化、スポーツなど各種研修および交流事業を実施すると、一人当たり3,000円の助成が受けられます。

申請 事業(旅行)を行う前に申請手続きを行い、事業終了後は速やかに事業報告してください。

【ハッピーバースディ能登羽田便利用旅行助成金】

誕生日に満60歳以上の方が、能登空港を往復利用して旅行をすると、1人当たり3,000円の助成が受けられます。

申請 住所および誕生日を証明できる書類と搭乗券が必要で、旅行最終日から1カ月以内に申請してください。

★各市町の助成制度との併用も可

問・申 七尾市役所 観光交流課 能登空港利用促進同盟会 能登空港ANAカウンター
☎53-8424
☎0768-26-2366
☎0768-26-2500 (搭乗券紛失時の連絡先)

能登空港 で検索